

藤沢市肢体障害者協会

会長 種田 多化子 事務局 TEL.FAX.0466-23-4206



令和3年度の活動計画

(新型コロナウイルスの感染状況によって変更有)

- ◎スポーツ活動：主に太陽の家体育館を拠点として活動
- ◎レク活動など：社会見学バス旅行、学習会、親睦会、新春ゲーム大会、大人のぬりえ教室、手芸のあやめの会、おしゃべり会等

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による混乱のなか始まりました。年度初めの定期総会も書面開催とし「今年は様子を見ていくべきである」と意見をいただき、9月に新江ノ島水族館見学、11月にポッチャ体験会、12月に年忘れおしゃべり会を開催できました。太陽の家体育館のスポーツ活動は緊急事態宣言が解除された後も活動できず、再度団体登録をして9月～12月貸館にて相談のうえ利用できましたが、年明けより再度の緊急事態宣言発令により活動できない状況です。コロナ感染症の早い収束を願っています。 編集委員 種田多化子

善行大越スポーツクラブ

代表理事 大久保 憲一 事務局 TEL.FAX.0466-77-5345

ふれあいケアトランポリン

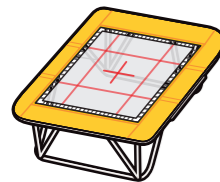
～善行小学校体育館～

障がいのある人でもスポーツに親しめるよう、自分の体重を使って跳ぶことができる心も体もはずむ『トランポリン教室』です。

- 《対 象》 知的または身体に特別支援を要する方 (幼児～成人)
- 《日 時》 日曜日 11:15～11:45
- 《費 用》 初回無料/2回目以降: 1回1500円(税込)
- 《駐車場》 予約制 台数に制限あり
- 《申込先》 E-mail: zoscfutureai@yahoo.co.jp

当クラブは生涯スポーツ社会実現に向け幼児から高齢者まで『いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも』をスローガンに活動している総合型地域スポーツクラブです。

編集委員 安西順子



公益財団法人 藤沢市みらい創造財団

スポーツ事業課 事務局 TEL. 0466-22-5633 FAX. 0466-28-5749

- 【藤沢市八部公園ふれあいテニス開放】 毎月2回 (土曜日 or 金曜日) 八部公園
- 【障がい者ふれあいテニス教室】 2021年4月24日(土)～7月3日(土) 八部公園
- ふれあいスポーツ交流会
- 【ローリングバレーボール&ポッチャ】 2021年11月3日(水・祝) 秋葉台文化体育館
- 【卓球】 2021年12月19日(日) (予定) 秩父宮記念体育館
- 【ふじさわポッチャ競技大会】 2022年3月13日(日) 秋葉台文化体育館

(公財) 藤沢市みらい創造財団では、体験交流イベントのふれあいスポーツ交流会に加え、「ふれあいテニス開放」や「ローリングバレーボール開放」・「障がい者ふれあい教室」など日常的なパラスポーツの推進に取り組んでおります。

編集委員 柳澤洋介



「ふれあいスポーツ交流会
～ローリングバレー&ポッチャ～」
YouTube 動画をぜひご覧ください!

やってみ

～あなたにもできるから、ぜひ、やってみて～

藤沢市アーチェリー協会・藤沢市ローリングバレーボール協会・神奈川湘南卓球クラブ・藤沢市肢体障害者協会
善行大越スポーツクラブ・神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会・藤沢市スポーツ推進委員協議会
社会福祉法人 光友会・東京カス株式会社神奈川西支店・公益財団法人藤沢市みらい創造財団
事務局(スポーツ推進課) TEL.0466-50-8243 FAX.0466-50-8433
発行日: 令和3年3月15日 編集・発行: 藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会

第2号



「教えて!オリンピック・パラリンピックのちから」～「+1」from FUJISAWA～

会長あいさつ

藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会 会長 種田 多化子



藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会は2018年8月に設立してから、まだ日が浅いですが、障がい者スポーツの普及・啓発のために活動しています。

しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響で東京2020パラリンピック競技大会は延期され、「ふじさわパラスポーツフェスタ2020」も中止になり、スポーツ活動が思うようにできない日々が続いていますが、少しずつ新しい生活様式で日常を取り戻そうとしています。

そのような状況のなか、藤沢市、藤沢市みらい創造財団、藤沢青年会議所の主催による「教えて!オリンピック・パラリンピックのちから」という素晴らしいイベントが神奈川県立スポーツセンターで開催されました。このイベントは神奈川県と藤沢市がポルトガルパラリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結したことをきっかけに、藤沢市の中学生がポルトガル共和国のパラリンピアンや日本のパラリンピアンとオンラインで交流し、障がい者スポーツやポルトガル共和国について学び、理解を深めていただくことができました。若い世代の方々に障がい者スポーツを知っていただけたことを嬉しく思っています。また、会場となった県立スポーツセンターは県立体育センターがリニューアルし、2020年4月に完成しました。この施設は「かながわパラスポーツ」の理念を踏まえ、神奈川県障がい者スポーツの拠点となるよう設計されています。バリアフリーな構造で、補聴器の性能をアップする機能や遮音性の高い壁が使用されていて障がい者スポーツに特化した多目的室があり、10月からは障がい者向けのスポーツ教室も開催されています。藤沢市に障がい者がスポーツ活動しやすい環境が増えることは嬉しく思います。

障がい者にとって身体を動かすことは大切なことで「かけがえのないこと」です。初めの一步を踏み出すことは勇気のいることですが、障がいがあってもできることがあるので「ぜひ、やってみて」いただきたいと思います。

藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会は障がいがある人もない人も互いを尊重し、支え合い、違いを認め合える共生社会の実現を目指しています。そのために、障がい者スポーツ団体のネットワークを図り、情報共有や意見交換をし、「障がい者スポーツカレンダー」や機関誌「やってみ」等を発行し情報発信するとともに、イベントや大会、体験会を開催しています。今後も温かいご支援をお願いします。

令和2年度藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会事業紹介

『教えて!オリンピック・パラリンピックのちから〜『+1』from FUJISAWA〜』

2020年10月24日(土)に、藤沢市がホストタウンになっているポルトガルのパラリンピアンとの交流等を行う、『教えて!オリンピック・パラリンピックのちから〜『+1』from FUJISAWA〜』を開催しました。

今回のイベントは市内に在住または在学の中中学生等を対象とし、Zoomによるオンライン参加と会場参加を組み合わせて開催しました。会場となったのは、ポルトガルパラリンピック選手団が事前キャンプを行う予定の市内善行にある県立スポーツセンターです。

第1部では、種田会長から、ご自身が障がい者スポーツを始めたきっかけや、障がい者スポーツを通じて様々な人が共に参加できる社会を目指すことなどを、会場でお話させていただきました。続いて、パラ水泳選手の木村敬一さんに合宿先の長野県からリモート出演していただき、東京2020大会への思いを語っていただきました。

第2部に向けて、ポルトガル大使館員の日置圭一さんから、歴史的にも私たち日本人と大変縁が深いポルトガルについてお話をいただき、いよいよ選手とのオンライン交流です。日本は夕方4時半ですがポルトガルは朝の8時半、海を越えての国際オンライン交流となりました。選手団長で元パラ水泳選手のレイラ・マルケス・モッタさん、ボッチャ選手のカルラ・オリヴェイラさん、パラ水泳選手のジーノ・カエターノさんが参加してくれました。リアルタイムで遠く離れたポルトガルのパラリンピアンの方々と交流できたことは、中学生の皆さんにとって貴重な体験となりました。ポルトガルの方々が「藤沢の皆さんと、オンラインでお話しできてとてもうれしいです。」とおっしゃっていました。最後にポルトガルの皆さんと、参加者の皆さんとで記念撮影を行い、来年に向けて、気持ちを一つにしなが、本イベントを終了しました。



パラリンピックの歴史

『東京2020パラリンピック競技大会を応援しよう!』



【パラリンピックの父
ルードウィヒ・グッドマン博士】

「パラリンピックの起源は？」

パラリンピックの起源は今から72年前の1948年になります。ロンドン郊外のストック・マンデビル病院の医師ルードウィヒ・グッドマン博士が提唱した『失ったものを数える!残された機能を最大限に活かせ。』というスローガンによって病院内で開かれたアーチェリーの競技会が発端でした。第2次世界大戦で負傷した軍人たちのリハビリの一環として行われたこの大会は、車いすの男子14人、女子2人の計16人で始まりましたが、回を重ね、やがて1952年には国際大会になりました。

さらに1960年のローマ大会からはオリンピック開催国で開催され、1988年のソウル大会からはオリンピックの直後に同じ会場で開催されるようになります。当初はリハビリテーションのためのスポーツだったパラリンピックですが、現在はパラアスリートによる様々な競技スポーツへと発展しています。出場者も「車いす脊椎損傷者」から対象が広がり、もうひとつの(Parallel)+オリンピック(Olympic)という意味で、「パラリンピック」という公式名称も定められました。

2020東京パラリンピック競技大会でパラアスリートたちのスゴ技を応援してみませんか?きっとパラリンピックの父、グッドマン博士のスローガンがみなさんの胸に響くことでしょう!

藤沢市アーチェリー協会

会長 松長 泰幸 事務局 TEL.090-8566-0990 FAX.0466-25-2821

コロナ禍でのアーチェリー

新型コロナウイルス感染症の流行により昨年3月から約3ヶ月間、年明け後も緊急事態宣言の再発出により、市内の弓道場や専用レンジが利用休止となり、当協会の会員は、筋力低下を防ぐため家庭内での素引き(矢をつがえない)や腕立て伏せなどの自主トレを行いました。パラスポーツフェスタなどの体験イベントはすべて中止となりましたが、第二波と第三波の間には感染予防対策を徹底しながら市民大会を開催し、非公認ではありますが、他団体が中心となり全国を対象としたリモート大会も開催され、当協会会員



も個人や団体で入賞するなどコロナ禍でも工夫しながら練習や競技に臨んでいます。令和3年度は感染状況を見て教室や大会の開催を判断します。

編集委員 武井 創

ホームページ
<http://fujisawaarchery.sakura.ne.jp/wp/>

藤沢市ローリングバレーボール協会

会長 金田 純雄 事務局 TEL.FAX.0466-44-6217

医者に「運動してね。」と言われるけど、歩けないのよ、走れない...そんなあなた!座ってできるスポーツあります!麻痺があっても、寝転がっていてもできます!ゲームだから楽しい、仲間もできます!ボールを転がして、三打で返すバレーボール。いつのまにか体が動き、ぼやけた気持ちもアガっちゃうかも?今は練習、行事とも先行き不明ですが、コロナ禍がおさまったらお問い合わせの上、ぜひ遊びに来て下さい。

編集委員 和田 真理子

年間の主な事業・行事予定

- 2月 審判講習会 (太陽の家体育館)
- 6月 第23回神奈川交流大会 (秋父宮記念体育館)
*発祥の地である兵庫の県選抜他県外チームも参加
- 11月 ふじさわパラスポーツフェスタ2021 (秋父宮記念体育館)
神奈川県ローリングバレーボール大会 (スカイアリーナ座間)
- 11月 藤沢ふれあい交流会 (秋葉台文化体育館)

ここで体験・活動できます!

| | | |
|---|--|---|
| 太陽の家体育館 0466-333-1411 毎月第4日曜日 9:00~11:30 毎月第3日曜日 13:00~16:30 | 湘南大庭市民センター 0460-1863-9003 毎月第2日曜日 15:00~18:30 | 秋父宮記念体育館 0460-1223-5335 市民開放日 (協賛期間) 9:00~11:00 |
|---|--|---|

どなたでもどうぞ!

ローリングバレーとは(競技規定神奈川県版)

床に座ったままネットの下を通してボールを転がし・打ちあうバレーボールです。子ども・大人・お年より・ハンディキャップのある人無い人、みんなが同じ目線で楽しめるスポーツです。

神奈川湘南卓球クラブ

会長 矢澤 克 事務局 TEL.0466-50-5688

今年度は、コロナ禍の影響のため、8月末までクラブの練習拠点である太陽の家体育館が閉鎖されてしまいました。9月より介添え者を含めて20人の使用制限の中で、2グループに分けて月2回の練習を12月末まで再開することができました。年末から年始にかけて感染者が増えたことによる感染拡大防止のため、クラブ内での交流試合、12月の中学生交流試合及び1月17日に行う予定だった第14回神奈川県障害者スポーツ大会卓球・サウンドテニス競技会も中止になってしまいました。

令和3年度は感染状況を見て練習や大会の開催を判断します。

編集委員 矢澤 克

